

記者発表（配付）資料

令和5年11月27日

所属部課	部長	室長	室長補佐	担当	連絡先
萩市総合政策部 産業戦略室	肌野 次雄	小野 真文	二宮 大輔	川崎 杏	0838-25-3351

件名	新たな萩市ふるさと納税返礼品を開発しました！ 全国のファン必見！！吉田松陰先生に触れられる！？ ～熱き“志”を受け継いで～
----	---

本市では、ふるさと納税による萩ファンの獲得に向け、寄付者にとって魅力ある返礼品の開発に取り組んでいます。

全国的に地域資源を活かした返礼品が話題となり人気を集めるなか、この度、“萩市ならではの”魅力あふれる返礼品を開発しましたのでお知らせいたします。

今後は、当該返礼品をきっかけとして、萩市に興味をもってもらい、萩市を訪れてもらえるようPRに努めて参ります。

記

- 【返礼品名】 吉田松陰先生ブロンズ像
- 【寄付金額】 1,000,000円（商品金額：220,000円）
- 【商品内容】 本体：ブロンズ彫刻（桐箱付き）
 ^{たばた いさお}
 田畑 功 氏（日展会員/審査員 日本彫刻会会員/審査員）
台座：御影石・台座揮毫
 ^{うえだ としげ}
 上田 俊成 氏（松陰神社名誉宮司）
- 【提供事業者】 交友館（館長：田中正徳、萩市土原 178-5）
- 【提供開始日】 令和5年12月1日（金）

▽萩市ふるさと納税返礼品「吉田松陰先生ブロンズ像」



「松陰神社」ご協力のもと、松陰神社所蔵の「吉田松陰先生自賛肖像」をモチーフに、若き松陰先生をミニチュアのブロンズ像として製作しました。

向かい風に負けず前に進む松陰先生の姿は、風で袴が揺れる様子など随所に職人の技が加えられています。

吉田松陰先生に触れ、「志」を新たにした証として、末永く大切に保有していただける方にご提供させていただきます。

記者発表（配付）資料

令和5年11月28日

所属部課	所 長	総括	担 当	連絡先
萩市福栄総合事務所 産業振興部門	岸田 尚之	土井 丈典	田中 大輔	0838-52-0121
道の駅「ハピネスふくえ」	—	—	飯尾 智 (支配人)	0838-52-0356

件 名	シクラメンフェアを開催します
-----	----------------

師走の道の駅「ハピネスふくえ」をシクラメンで鮮やかに彩る、「シクラメンフェア」を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

1：日時

令和5年12月2日（土）午前9時～午後3時

令和5年12月3日（日）午前9時～午後2時

2：場所

道の駅「ハピネスふくえ」（萩市大字福井下4014番地2）

3：イベント内容

- ・シクラメン（鉢物）の直売
- ・ガーデンシクラメン、パンジー、葉ボタン等の苗物の直売
- ・シクラメンの全国発送
- ・新鮮野菜の販売（午前8時30分～午後5時）
- ・焼きそば、ホットサンド、たい焼き、焼き鳥、蒸気まんじゅう、和菓子等の軽食販売

4：その他

- ・シクラメン生産農家が厳選したシクラメンを道の駅「ハピネスふくえ」で直売します。市場を介さないの鮮度のいいシクラメンがお手頃の値段でお買い求めいただけます。
- ・生産農家が常駐しますので、シクラメンの栽培管理を聞くことが出来ます。
- ・約2,000鉢のシクラメンを取り揃えていますので、たくさんのシクラメンからお気に入りのシクラメンをお選びください。

5：主催

福栄鉢物生産組合

記者発表（配付）資料

令和5年11月27日

所属部課	局長	課長	課長補佐	担当	連絡先
萩市教育委員会 文化・生涯学習課	植村 正	小野 彰彦	平田 敏郎	末廣 大地 江山 豊	0838-25-3590

件名	萩市中央公民館社会教育関係団体合同作品発表会並びに 萩市中央公民館高齢者教室作品展について 【同時開催】
----	---

中央公民館や萩市民館を普段から利用されている団体が中心となって実行委員会を作り、日頃からの成果を地域へ発表し、また団体相互の親睦・連携を深め更なる各団体の発展に励むための作品展を開催しますのでお知らせします。

■日時 令和5年12月1日（金）～3日（日）
午前9時～午後5時（最終日は午後4時まで）

■会場 萩市民館 小ホール・ロビー

■出展団体

—団体名・講座名—

- 1.パッチワーク教室（パッチワーク）
- 2.萩川柳会（川柳）
- 3.北浦自然観察会（自然観察）
- 4.書道に親しむ会（書道）
- 5.アトリエ樹（水墨画・油彩画）
- 6.萩人形の会（12cmの日本人形）
- 7.粘土人形ハッピークラブ（粘土人形、クレアアート）
- 8.楽しみ倶楽部（エコクラフト 他）
- 9.あみ物教室（手編み）
- 10.編み物の会（手編み）

【高齢者教室】園芸講座、書道講座、絵てがみ講座、初心者からのいけ花倶楽部講座

■その他

入場料無料

■主催 萩市中央公民館合同作品発表会実行委員会

■共催 萩市中央公民館

楽しみ倶楽部

○エコクラフトでのかごづくり、
色々なもののづくり

平成26年～

代表 中村 万里子

毎月第1・3木曜

午後1時30分～4時30分

☆入会金・会費なし。参加された時に、その都度200円徴収。

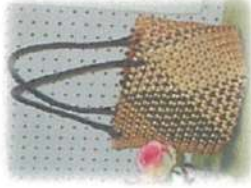
☆エコクラフトやPPバンドを使ったカゴや小物作りが主な活動としています。

☆カゴ作りだけでなく、会員の希望によるアクセサリー作り等、色々な手芸活動をしています。

☆とにかく、気軽に参加できます。

☆手芸は苦手でも何か作ってみたいという方も自分が楽しむというのを大切に活動しています。

☆“何か作ってみてみたい”と思っておられる方が集まる“楽しい場”です。1回のみの参加も出欠も自由です。



あみ物教室

○手編み

平成2年～ 中央公民館

代表 刀禰 順子

週1回 午後7時～午後9時

月1,000円

☆自分の編みたいものを編みます。初心者向きです。



編物の会

○手編み

平成元年～中央公民館

代表 上野 龍子

毎週月曜日 午前10時～午後3時30分

☆流行の柄、糸、色を自分で選び全員で話し合いながら、和気あいあいと楽しく編んでいます。

☆編物の本を見ながら気楽に取り組んでいます。

流行のセーターが編めますよ！



高齢者教室（愛称：あおあお教室）

昭和40年代に人口の高齢化が社会課題となりはじめました。国は教育と学習支援対策として「高齢者教室開設事業」を昭和48年度に開始。この制度を活用し、萩市は昭和49年度から教室を開設。当初は、受講者全員による学習活動をを行うとともに、任意選択の副講座として書道・陶芸・園芸の三講座、また自主活動の倶楽部活動として俳句・俳画・民謡・歌謡・ダンスなどを行ってきた。

教室開設49年目の現在は、書道・園芸・いけば花・絵てがみ講座、歌謡・老化防止教室を開設。

◆園芸講座 講師：石田 正明

昭和49年～ 中央公民館

月1回（火曜日） 毎年度前半期5回

受講料 1,000円/5回 別途教材費あり

◆書道講座 講師：河村 竹貞

昭和49年～ 中央公民館

6月から10月 5回（月1回：月曜日）

受講料 1,000円/5回 別途教材費あり

11月以降倶楽部活動講座あり

◆絵てがみ講座

講師：中野 喜久江

令和5年～ 中央公民館

6月から11月 5回（月1回：火曜日、8月休み）

受講料 1,000円/5回 別途教材費あり

12月以降倶楽部活動講座あり

◆初心者からのいけば花倶楽部講座

講師：岡 清子

令和5年～ 中央公民館

前期（6月から11月）、後期（12月から5月）

受講料 3,000円/6回 別途教材費あり

問合せ：中央公民館 TEL:0838-25-3590

令和5年度

中央公民館社会教育関係団体
合同作品発表会
中央公民館高齢者教室作品展
(同時開催)

作品発表団体紹介

社会教育関係 (掲載順)

- ・パッチワーク教室
- ・萩川柳会
- ・北浦自然観察会
- ・書道に親しむ会
- ・アトリエ樹
- ・萩人形の会
- ・粘土人形ハッピークラブ
- ・楽しみ倶楽部
- ・あみ物教室
- ・編物の会

高齢者教室

- ・園芸講座
- ・書道講座
- ・絵てがみ講座
- ・初心者からのいけば花倶楽部講座

問合せ:

中央公民館

萩市教育委員会事務局 文化・生涯学習課

TEL:0838-25-3590

パッチワーク教室



○パッチワーク 平成17年～
中央公民館
講師：中村梅代
第2・4月曜 午前10時～正午

☆「楽しく続けられる会」をモットーにそれぞれ自分のペースで作品作りをしています。興味のある方は見学にいらしてください。

☆手作りが好きな仲間と2ヶ月に1作品のペースでバッグやタペストリーなど全員が同じデザインの作品を作っています。
また、並行して作品展用のオリジナル作品を各自で作っています。

菖川柳会



○川柳 創立大正10年
再興 昭和46年～
代表 草野 清文
中央公民館

月例会：毎月第2火曜日 午後1時30分～午後5時
会費（月額）正会員600円 準会員 300円

☆会員以外のどなたでも、いつでも投句できます。
投句料 1回300円

☆萩出身の川柳中興の祖 井上剣花坊の斯道を学び、人間賛歌の5・7・5の短詩を作句し楽しみます。

～川柳の勉強会を開いております～

北浦自然観察会



○自然観察 平成10年～
代表 永井要明

☆自然観察会は月1回以上。年間15～20回。

☆自然観察会の他、自然保護活動も行っている。

☆近年は地域興しにも力を入れ、自然を生かした町づくりを目指している。

☆自然を観察することによって、過疎化が進むふささきに役立つものを自然の中から探す。

☆人と自然の共生を目指し、健康な身体と豊かな精神を育むことができる。

☆若い人が少ないので、ぜひ若い人にも参加してほしい。

書道に親しむ会



○書道 平成16年～
中央公民館
第2・4月曜 午後7時～8時30分
月2,500円（入会条件なし）
講師：佐川 三重子

☆書道の基礎から楷書、行書、草書と学んできました。今年度は隷書に挑戦していますが、かな文字に専念している人もいます。

☆少人数で懇切丁寧な御指導を受けながら、充実した時間を過ごしています。

アトリエ「樹」



○水彩画・油彩画
昭和47年～ 中央公民館
代表 筒井 順督
会費 月500円（年払い）

毎月第4日曜 午後1時30分～午後4時30分

講師 吉村隆之助（萩市川島）

☎連絡先 TEL 0838-21-7754 筒井（FAX同）

携帯 090-7895-6231

☆上手とか下手とかではなく、世界でただ一つしかないあなたの作品を描いてみませんか。

☆絵画を通してお友達になりませんか。お待ちしております。

萩人形の会



○萩人形
代表 岡野芳子

◆萩人形教室 市民館 第2楽屋

第1・第3金曜 午後7時～午後9時

◆令和の会（中級） 渡辺高蔵旧宅

第1月曜 午後1時30分～午後4時

◆萩人形初級クラス 渡辺高蔵旧宅

第3日曜 午後1時30分～午後4時

☎連絡先：岡野芳子 0838-22-3178

090-5374-2328

☆針金・綿花・布を使いポディーを制作、着物・小道具すべて手作りです。

☆萩の自然・歴史・文化をテーマに生まれた12cmの日本人形です。

☆お人形の大好きな方、一緒に人形作りを楽しんでみませんか。お待ちしております。

粘土人形・ハッピークラブ



○粘土人形・クレアアート

代表 長岡 千恵子

中央公民館

第1・第3水曜日

午前9時30分～正午

☆クレアアート

【樹脂粘土】を使い、花や盆栽等を作っています。

☆粘土人形

【紙粘土】を使い、童話や創作人形を楽しく作っています。

記者発表(配付)資料

令和5年11月28日

所属部課	部長	課長	係長	担当	連絡先
萩市福祉部 福祉政策課	松原 功明	佐々木 礼子	戸禰 典子	岡 将成	0838-25-3585

件名	福祉×アート 作品展 『藏貫 信作品展』の開催
----	-------------------------

総合福祉センター1階の展示コーナーにおいて、
「アトリエ藏」の 藏貫 信 さんの作品を展示します。

【期間】令和5年11月28日(火)～12月15日(金)(平日のみ)

午前8時30分～午後5時15分

【場所】総合福祉センター1階 展示コーナー

【藏貫 信さんについて】

1969年 山口県に生まれる。(萩市椿在住)
北九州の養護学校でクラブの時間に絵を習い、
1989年から萩で絵を描きながら、個展活動を行っている。
2006年第12回山口県障害者芸術文化祭
絵画の部において県知事賞受賞。
2010年 MOE イラスト・絵本年間大賞
年間グランプリ 準グランプリ受賞 など。



1階平面図

【展示内容】

水彩画 10点、動物の作品 26点



記者発表（配布）資料

令和5年11月29日

所属部課	所長	地域調整監（担当）	連絡先
萩市須佐総合事務所	井本 義則	柳井 淳治	08387-6-2211

件名	“須佐ふれあい花壇”チューリップの球根の植え付け作業の実施について ～須佐地域彩り交流促進事業～
----	---

萩市では、地域の魅力化を推進するため、令和4年度から、花を活用し交流人口の拡大を図る「地域彩り交流促進事業」に取り組んでいます。

須佐地域においては、萩ジオパークのジオサイトである畳ヶ淵入口付近に、弥富地区ゆかりのそばの花を植栽しました（弥富地区）。令和5年度は、新たに須佐地区において、須佐ガソリンスタンド前の国道191号線路側の歩道沿いに花壇（須佐ふれあい花壇）を再整備しています。この度、この花壇に令和6年春の開花を目指して、須佐ふれあい花壇の会会員と地元住民や小中学生らが、チューリップの球根（約1万球）の植え付け作業を行いますので、下記によりお知らせします。

記

- 日時 令和5年12月2日（土曜日）午前9時から12時まで
※悪天候の場合は、翌週9日（土曜日）に延期
- 場所 萩市大字須佐 4981 番地 15 須佐緑地等管理中央センター前集合（花壇まで徒歩移動）
※別添位置図参照
- 主催 須佐ふれあい花壇の会 会長 大谷 浄二（おおたに じょうじ）
- その他
 - 事業概要
植栽面積：約125㎡（A箇所：105㎡、B箇所：20㎡）
花の種類：チューリップ（約1万球） 白/赤/黄/紫/橙/桃の6色を予定
経緯：現地には、平成18年ごろまで花壇があり、当時、商工会職員等の尽力によりチューリップなどの花が植栽されていた。今年度、須佐地域彩り交流促進事業により、JR須佐駅周辺の活性化を目的に、現地を再整備し、当時植栽されていたチューリップを植栽することとなった。
 - 須佐ふれあい花壇の会
花壇周辺の事業者（須佐郵便局や須佐自動車、須佐おもてなし協会、萩広域シルバー人材センター須佐出張所など）や個人等で構成されている任意団体。会員18名。
花壇の整備やチューリップの生育管理等を受託。

●整備状況写真

①



整備前 (R4.8)



R5.11

②



整備前 (R4.8)



R5.11

③



整備前 (R4.8)



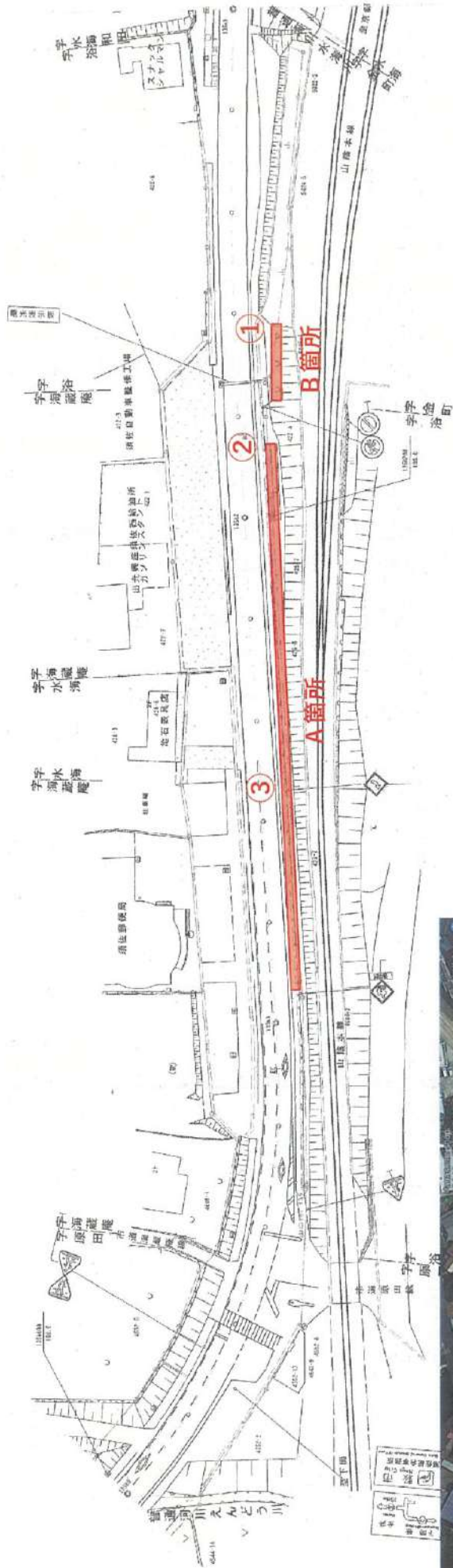
R5.11

位置図

道路台帳附图

(縮尺1/500)

萩市大字須佐



●A箇所

L = 114 m

A = 105 m²

●B箇所

L = 14 m

A = 20 m²

●植栽面積：125 m²

●花の種類：チューリップ（白/赤/黄/紫/橙/桃）

約1万球



記者発表（配付）資料

令和5年11月30日

所属部課	部長	課長	担当	連絡先
萩市農林水産部林政課	白神 敦司	大谷 聡	井上 貴文	0838-25-4194

件名	親子で学ぶ木育ツアー 「森と暮らしの調査隊」の開催について
----	----------------------------------

萩市では、市域の8割を占める森林の多様な活用に取り組んでいます。
このたび、多彩なゲスト講師とともに、五感を使って楽しく森や木に接し、暮らしとのつながりについて学ぶ、体験型のツアーを開催しますのでお知らせします。

《内容》

【第1回】「萩の森を全身で感じ、全力で遊ぼう」

日時 令和5年12月9日（土）午後1時00分～3時30分

場所 萩田床山いこいの広場

講師 北澤良太氏（一般社団法人いいなみ自然学校 代表理事）



【第2回】「冬の森をみてみよう。生き物を通して観察する萩の森」

日時 令和6年1月13日（土）午前10時00分～午後0時30分

場所 萩田床山いこいの広場

講師 佐藤重穂氏（国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 広報普及科長）

【第3回】「森の収穫体験！木がまちに届くまで」

日時 令和6年1月27日（土）

【第4回】「山口県名産“焼き抜き蒲鉾”と森のひみつ」

日時 令和6年2月10日（土）

【第5回】「築100年以上の古民家で木のある暮らし体験」

日時 令和6年2月25日（日）

※第3～5回の詳細は別途お知らせします。

※体験の詳細・申し込みはQRコードからお願いします。



詳細情報・申し込み
(イベントホームページ)

《問合せ》

【主催】萩市（林政課：0838-25-4194）

【企画運営】（株）萩・森倫館 担当：秋山（050-5896-1886）

親子で学ぶ木育ツアー

森の暮らし
の
調査隊

参加費無料
〈全5回〉

ツアーの詳細・参加申込みはこちらのQRコードから！
<https://hagi-shinrinkan.jp/archives/993>



主催／萩市 企画運営／株式会社萩・森倫館

森とまちの暮らし、その大切なつながりを調査せよ！

かつて森は私たちの暮らしにとっても身近で、暮らしの中には木のモノがあふれていました。

しかし、少しずつ森は遠い存在になり、子どもも大人も木に触れ、森に学ぶ機会が減っています。

実は私たちの暮らしにとって欠かせない森、その営みを地域を巡りながら五感を使って一緒に学びましょう。

各分野・生業で活躍する多彩なゲスト講師と共に、楽しく木・森に触れながら学ぶ、体験型の木育ツアーを全5回開催します。

第1回 「萩の森を全身で感じ、全力で遊ぼう」

いつも同じようで毎日違う森。自然遊びを通して、森の表情や豊かさを全身で感じてみましょう。森を知る第一歩は、森と一緒に遊び全力で楽しむことから！
(遊びの例：落ち葉遊びや秘密基地づくりなどを予定。※フィールドの状況や参加者のみなさまのご興味などを踏まえて当日判断いたします。)

【日時】2023年12月9日(土) / 13:00~15:30

【場所】萩田床山いこいの広場(萩市椿東33-22)

【講師】北澤 良太 氏

一般社団法人いいなみ自然学校 代表理事

【定員】30名程度(参加費無料)



第2回 「冬の森をみてみよう。生き物を通して観察する萩の森」

冬の森を散策しながら、そこに生息する生き物を観察してみよう！
越冬する昆虫の様子や、植物、野鳥などの観察を通じ、多様な生き物と森の関係性について学びましょう。(※悪天候時は一部内容を変更して室内にて開催)

【日時】2024年1月13日(土) / 10:00~12:30

【場所】萩田床山いこいの広場(萩市椿東33-22)

【講師】佐藤 重穂 氏

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所 広報普及科長

【定員】8組30名程度(参加費無料)



coming soon !

第3回「森の収穫体験！木がまちに届くまで」

【日時】2024年1月27日(土)

第4回「山口県名産“焼き抜き蒲鉾”と森のひみつ」

【日時】2024年2月10日(土)

第5回「築100年以上の古民家で木のある暮らし体験」

【日時】2024年2月25日(日)

【お問い合わせ】

企画運営：株式会社萩・森倫館

050-5896-1886 (代表)

info@hagi-shinrinkan.jp

ツアーの詳細・参加お申込みは
前面のQRコードから！



12/17日 **1/21日** **2/11日**

10:00～15:00 入場無料・出入り自由・荒天決行
 @萩セミナーハウス（萩市堀内 211-1）

野外会場

大地の遊び人ひろば

季節や天気など、自然の声を聞きながら
 自由気ままに野遊びをしよう。

- まきわり&火おこし ●季節の鉄なベクッキング
- コーヒー焙煎体験 ●冬の指月山たんけん 等

屋内会場

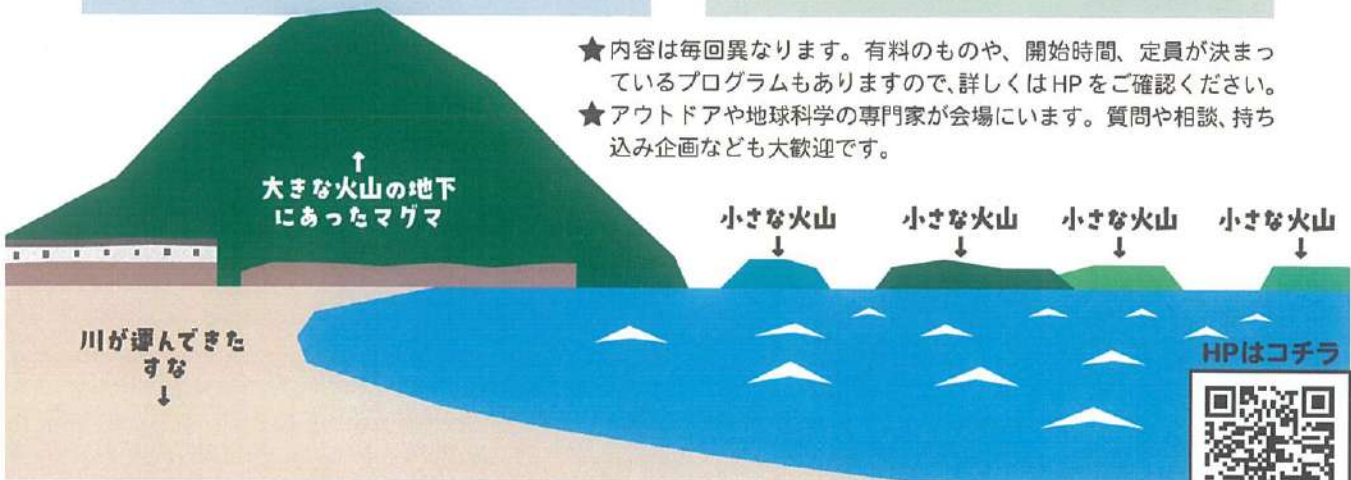
大人も!

こども地球の学校

実験や工作で、自分たちがくらしている
 足もとの大地の成り立ちを知ろう。

- 火山実験教室 ●化石レプリカ&しましま地層
 ボトルをつくろう ●大地の飲みくらベカフェ 等

★内容は毎回異なります。有料のものや、開始時間、定員が決まっ
 ているプログラムもありますので、詳しくはHPをご確認ください。
 ★アウトドアや地球科学の専門家が会場にいます。質問や相談、持ち
 込み企画なども大歓迎です。



お問合せ：萩ジオパーク推進協議会 ☎ 0838-21-7765 ✉ geo@city.hagi.lg.jp



参加者募集!

第1回「大地の日」を開催します!

日時: 2023年12月17日(日) 10:00~15:00

会場: 萩セミナーハウス

申込み: 不要

内容: 寒い季節にピッタリの鉄なべ料理などで野外で過ごす「大地の遊び人広場」や、室内での実験教室、工作プログラムなどを通して、普段あまり気に留めない足もとの「大地」に目を向ける1日。お好きな時間に、お気軽にお立ち寄りください!



萩ジオアカデミー特別編

第1回: 2023年12月23日(土) 13:30~15:30、オンライン開催

第2回: 2024年1月21日(日) 9:30~16:00、

萩セミナーハウス(予定)

申込み: 事務局までお電話(0838-21-7765)

内容: 講師に日本科学未来館で科学コミュニケーターとして活躍されている花井智也さんをお招きし、子どもから大人まで楽しく学べるプログラムをどのように作っているのか、その舞台裏を教えてください。第1回はオンラインでお話を聞き、第2回は実際に受講者でプログラムを企画してみます。専門的な知識を一般の方に伝える極意を教わりましょう!



笠山山頂展望台鷹ノ巣からのお知らせ

笠山山頂展望台鷹ノ巣を平素よりご愛顧いただき誠にありがとうございます。12月から2月までの冬季期間、2階カフェの営業時間が午前10時から午後3時(ラストオーダーは午後2時30分)まで、3階展示休憩室の開館時間が午前10時から午後4時までとなりますのでお知らせします。また、2階カフェ、3階展示休憩室ともに12月29日から1月3日の年末年始をお休みとさせていただきますので併せてお知らせします。ご不便をおかけしますが、よろしく申し上げます。尚、建物の回廊部分はこれに限らずいつでもご利用いただけます。



12月の予定

○ geoとも(萩ジオ友の会) 12月16日(土) 13:15~15:30 場所: 市民活動センター 結 内容: 定例会「ジオトークよもやま話」 主催・問い合わせ: geoとも 桂(0838-21-7173)、中西(080-8747-9383)

● 第1回「大地の日」 12月17日(日) 10:00~15:00 場所: 萩セミナーハウス 内容: 上記を参照 主催・問い合わせ: 萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)

● 萩ジオアカデミー特別編 12月23日(土) 13:30~15:30 内容: 上記を参照 主催・問い合わせ: 萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)

萩ジオパーク

推進協議会だより vol.105

萩ジオパーク推進協議会

| 2023年11月30日発行 |



〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 https://hagi-geopark.jp

📘 https://www.facebook.com/HagiGeoProject



この秋は、各地域のイベントにたくさんおじゃましました!

日本ジオパーク認定5周年記念の一環で、10月1日の弥富そばの花まつりを皮切りに、11月3日むつみふるさとまつり、5日かわかみふるさとまつり、19日あきのささなみまちじゅうまつり、26日の田万川地域生涯学習フェスティバルと、地域のイベントにおじゃまいたしました。いずれの会場も多くの方にブースを訪れていただき、体験を通して萩ジオパークを知っていただくことができました。

むつみ、佐々並、田万川では地域の食生活改善推進員さんが一緒に出店してレシピを配布。むつみでは千石台大根の無料試食や販売も。



大地が違えば水が違い、水が違えば食文化が異なる ~飲み比べカフェ~



萩ジオツーリズム協会のスマートボールや大地の成り立ち実験、すさPR☆COMPANYの景色をステンシルで表現するササギンチャクが大人気!



第13回日本ジオパーク全国大会 in 関東に参加しました



第13回日本ジオパーク全国大会in関東「今こそ行こう！ジオパーク」が開催されました。今大会は、銚子会場と秩父会場の2会場で開催され、萩ジオパークからは、銚子会場に7名、秩父会場に1名が参加しました。

27日は、秩父会場で、秩父市観光大使林家たい平師匠による特別座談会「ジオパーク秩父と私」が開催され、28日は、銚子会場で開会式が行われ、表彰や茨城大学理学部長・一般社団法人日本地質学会会長岡田誠氏による基調講演「チバニアンと地質遺産」、前JGN事務局長・DMO一般社団法人糸魚川市観光協会事務局長齊藤清一氏による基調提言「ジオパークは誰のためのもの？」が行われました。午後からは各会場で分科会が行われ、萩ジオパークからは、「ジオパークから考える川・海のごみ問題」、「ジオパークって何をする活動?」、「ジオパークから発信するサステナブルツーリズムの今」に分かれて参加、終了後は交流会にも参加し全国各地域のジオパーク関係者と交流を深めました。

29日は銚子会場のポスターセッションコアタイムで、「萩ジオパークのつくり方」と、「萩ジオパークの体験プログラムのつくり方」を発表、銚子会場近くで開催されていた「屏風ヶ浦ジオマルシェ」や、秩父会場周辺で開催されていた「CHICHIBUプレミアムダイニング」などを見学しました。今回、萩ジオパークが表彰されたことに対し、多くの大会参加者から祝していただきました。年1回のジオパーク関係者の交流の場として開催される全国大会で、各地域の実情や課題、課題に対する取り組み状況を直接聞くことができ大変参考になりました。参加された皆さまお疲れ様でした。



参加者の感想

【萩ジオツーリズム協会 石飛一枝さん】

北海道アポイ岳、大分大会に続き3回目の全国大会参加です。表彰式では、グッドプラクティス賞を頂き、萩ジオパークから参加した皆さんと喜びと感謝をステージで分かち合いました。分科会では脇田戦略顧問が講師を務めた「ジオパークって何をする活動?」に参加し、ジオパークとは過去から未来、1人からみんなへ、地域から世界へと心の時空を広げる活動であり、地質遺産の保全が最大の目的である。ということに改めて心に刻み込みました。ポスター発表では、溶岩実験を見てもらい、全くガイド経験がなかった私が、専門員から教わりながら、実験や体験をとおして感じてもらうガイドをしていることなどを説明しました。健康であれば来年の下北大会にも参加したいと思っています。



ポスターセッションの様子

参加者の感想

【萩ジオツーリズム協会 斉藤みよ子さん】

分科会では「ジオパークって何をする活動?」に参加しました。今まで自分の関わるジオサイトで、宝石や化石などの販売は関係がないので、深く考えることがなかったのですが、地質遺産の活用と保全について考えるきっかけとなりました。「宝石は文化だ」という説もあるようですが、「地球の歴史である貴重な地質遺産を将来のために残さなくてはならない。」ということが理解できました。ポスター発表では、一方的に説明するのではなく五感を重視したツアーをしていること、専門員と相談しながら地域の人がガイドをしていること、これらにより年々市内、市外、県外の参加者が増えてきたこと、現在笠山山頂で笠山ジオの会が行っている取り組みなどを説明し、質問や感想をいただきました。いい体験が出来たことを感謝します。

【萩ジオツーリズム協会 伊達千絵さん】

分科会では「ジオパークから考える川・海のごみ問題」に参加しました。日本のどこの海岸にも、漂着ゴミがあります。海洋ゴミにはさまざまな種類があり、紙や布、木材など自然由来のものは時間の経過とともに分解されて自然に帰っていきますが、プラスチックは分解されず、マイクロ化していつまでもとどまっています。大井、奈古の浜清掃で見られる漂着ゴミは、中国のものや韓国のもありますが、やはり多くは日本のものです。漁業関係の発泡スチロールや魚の仕掛けのものも数多く見かけられます。中には、歯ブラシやシャンプーの容器など、なぜこんなものが海に流れ着くのだろうと思うものもあります。海岸漂着ゴミの8割は、河川から流れ出したものであり、ペットボトルの半数は日本のものであるといえます。何気なく捨てて、自分の目に触れなくなると消えてなくなってしまうと考えている人が多くいるのですが、決してそんなことはありません。私たちの生活は、地球の営みの上に成り立っており、自然と共生していかなければならないのだから、自分たちが「ゴミを出している」という意識、「捨てるゴミ」から「出さないゴミ」という意識を一人ひとりが持つ必要があると改めて感じました。

越ヶ浜小学校ジオパーク学習

11月10日は萩市立越ヶ浜小学校の5・6年生と一緒に須佐ホルンフェルスに行ってきました。

同じ萩市に住んでいても、これまでに来たことがある子は3人だけ。ほとんどの子が初めてだったようです。現地で地層の実物に触れると「白いところはザラザラしてるけど、黒いところはスベスベしてる」と、素晴らしい観察力を発揮してくれました。

地層の成り立ちの解説の後、地元出身のガイドさんが天然の岩のりを見せてくれました。この辺りは冬になると平らな岩場にビッシリと海苔が付き、地元の人たちはそれを手で採って集めて板海苔にします。子どもたちの地元・越ヶ浜の海といえば、笠山をはじめ火山の活動でできたゴツゴツの溶岩だらけ。場所がちがえば大地がちがって、大地がちがえば暮らしがちがう。そんなことを感じてもらえたのではないのでしょうか。

